



*DCは、Defined Contribution (確定拠出年金)の略です。

発行：損保ジャパンDC証券

「2008年度DC制度運営交流会」開催ご報告

〈開催概要〉

当社は、「2008年度 DC制度運営交流会」を2008年12月4日、野村コンファレンスプラザ(東京都新宿区)にて開催いたしました。

本交流会は、当社を運営管理機関としてご利用いただいているDC制度導入企業担当者様同士の交流の場として、また情報交換の場として、より実践的な制度運営に役立つよう、毎年企画・開催しており、今年度が3回目の開催となります。

〈DC運営事例講演〉

株式会社奥羽日立 総務部総務企画課 寺谷 信幸 様

寺谷様からは、制度導入来継続的に行ってこられた加入者様の知識習得に対する取組状況についてご講演いただきました。

株式会社奥羽日立様は、北東北三県に営業所が点在していることから、集合セミナー形式ではなく社内のイントラネット等をフルに活用されています。定期的に情報発信を継続することで、少しずつ、加入者の方々のDCに関する意識が高まってきていること、今後さらに検討している打ち手などを中心に、具体的な内容を含めてお話しいただきました。今回特別に制度運営についての事例をご講演いただきました株式会社奥羽日立様に重ねて御礼申し上げます。



寺谷 信幸 様

〈損保ジャパンDC証券からの報告〉

今回は、60歳を迎えられた方の給付をテーマにご報告いたしました。老齢給付金の給付に関しましては、60歳を迎えられる方から直接弊社にご請求いただくため、事業主の皆様からは、状況が見えにくくなっておりました。老齢給付金受給までの流れをご説明するとともに、当社が行っているサポートサービスについてご案内いたしました。

この他、次年度に予定されている加入者様向けのサービス向上についても、当社の取組状況をご説明いたしました。

〈意見交換会〉

本会の目的である、DC制度導入企業担当者様同士の交流を深めていただくため、少人数グループに分かれて、意見交換会が行われました。参加された皆様は、株式会社奥羽日立様からのご講演などを参考に、加入者様の意識向上や情報提供、継続教育などについて各グループとも盛んな情報交換や質疑応答が交わされ、大いに盛り上がりました。



〈特別講演〉

交流会の結びに、損保ジャパン・アセットマネジメント株式会社 顧問 伊藤稔氏より、「急変する投資環境と株式投資」というテーマで講演をいただきました。昨今の経済情勢を鑑み、事業主の皆様には関心の高いテーマでもあることから、皆様熱心に聴講されておられました。

〈懇親会〉

本交流会終了の懇親会は会場を移して行われ、当初出席を予定されていなかった方々を含め、多数のご出席をいただきました。都内の夜景をご覧いただきながら、ご歓談いただきました。意見交換会に続き、企業担当者様同士の親睦をさらに深めていただく場として名刺交換や挨拶が交わされ、当社社員も加わって、和やかながらも盛況な雰囲気の中、幕を閉じました。

〈参加企業様のアンケート結果から〉

交流会全体につきましては多くの皆様にご満足いただくことができました。株式会社奥羽日立様のご講演内容などを参考にされて、各企業様の取組みにお役立ていただけることと思います。交流会全体に関するアンケート結果(図1)は、今年度も“満足”“ほぼ満足”の項目で100%を占めました。次回の参加についても(図2)多くの方から「ぜひ参加したい」という回答をいただき、「内容次第で参加したい」と回答された方を合わせると、ほぼ全員の方から好意的な回答がありました。

最後になりましたが、ご参加を賜りました企業担当者様に深く御礼申し上げます。なかには遠方よりご足労いただいた方もおられ、弊社社員一同大変嬉しく、ありがたく思っております。おかげさまをもちまして、大盛況のうちに終了させていただくことができました。皆様からいただいたお声を励みに、さらに有意義な交流会にしていきたいと考えております。

次回の交流会にも是非ご参加ください。お待ちしております。

■参加企業様 アンケート結果(抜粋)

図1：意見交換会について

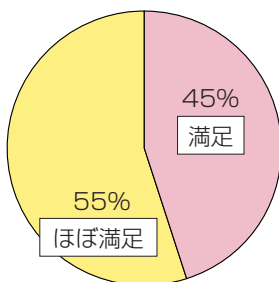
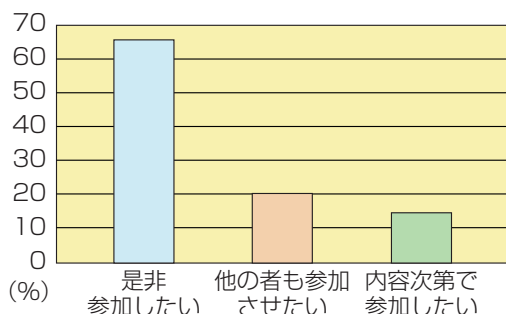


図2：次回の参加について



【DC制度運営交流会プログラム】

- 損保ジャパンDC証券からの報告1
「給付金の請求手続きと
当社のサポート体制について」
- 「DC制度 取組み状況とその問題点について」
株式会社奥羽日立
総務部 総務企画課 寺谷 信幸 様
- 損保ジャパンDC証券からの報告2
「加入者サービスの充実について」
- 意見交換会
- 特別講演
「急変する投資環境と株式投資」
損保ジャパン・アセットマネジメント株式会社
顧問 伊藤 稔 氏

主催:損保ジャパンDC証券株式会社
日時:2008年12月4日 13時~17時
場所:野村コンファレンスプラザ
(東京都新宿野村ビル48F)

【2009年 社長新年ごあいさつ】

新年明けましておめでとうございます。

2009年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

弊社運営管理機関業務につきましては、いつも格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

皆様にとりまして本年が、さらなる飛躍の年になりますことを心からお祈り申し上げます。



さて確定拠出年金制度は2001年の発足以来、7年を経過し、導入企業数11,105社(2008年10月末現在)、加入者数で3,011千人(2008年10月末現在)にまで成長し、新時代の企業年金の中核制度としての役割を力強くはたしております。

とりわけ世界的な金融、証券市場の激変に始まった景気後退の中で、企業経営の安定と従業員福利厚生を両立できる制度として、確定拠出年金制度の優位性が改めて確認されてきつつあるように思われます。

加えて確定拠出年金制度の一層の普及・充実に向け、掛金限度額の拡大、加入者拠出を可能とするマッチング拠出の導入等の新たな諸施策が、2008年12月12日に発表された平成21年度税制改正大綱にて決定されております。心強い動きであり、大いに期待しております。

弊社も、お陰さまで、企業型年金規約承認数ベースでマーケットシェア13%(2008年10月末現在)を確保する共に、NPO法人投資教育協会による運営管理期間サービス評価調査でも4年連続のトップクラス評価をいただくことができました。

ひとえにお客様皆様方のご支援、ご指導の賜物と、心から感謝申し上げますと共に、今後とも弊社サービスの強み、弱みを自ら十分認識し、一段の改善に向け精進してまいります。

とりわけ、本年は事業主様、加入者様皆様に気軽に安心してお使いいただける情報提供強化を目指し、加入者様向けWEBサイト、取引状況のお知らせの全面改訂を予定しております。2009年半ばの提供開始にむけ全力を注いでおりますので、ご期待いただければ幸いです。

本年も制度導入コンサルティングから自社記録管理システム、投資教育専任チーム等による運営管理業務関連サービスを一貫してご提供できるユニークな運営管理機関として、事業主様、加入者様の声に常に耳を傾け、サービス向上に向け社員一丸となって努力してまいります。

引き続きまして、宜しくご指導、ご高配の程お願い申し上げます。

2009年1月
 損保ジャパンDC証券株式会社
 取締役社長 長島忠男